



# 1年学年だより

発行日：令和3年6月30日（水）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 3

## 自分の居場所について

校長代理 富樫哲一

6月も終わりに近づきました。部活動によっては既に市の総合体育大会が始まっていて、特に運動部に所属している皆さんは週末の土曜日、日曜日の試合のことを考えてワクワクしたりドキドキしたりする毎日なのではないでしょうか。3年生の皆さんにとっては、全国までつながる最後の大会となるのでその感情の高ぶりも一段と大きいことでしょう。

先日、ある部活動の応援にいきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、マスク着用かつ大声での応援の禁止、手指の消毒、人数の制限がされている等、例年とは違った市の総合体育大会となっていました。しかし、保護者の方に応援してもらおうことができるので、特に3年生は充実した様子で試合に臨んでいるように見えました。

当日、試合の応援をしながら改めて考えたことがありました。それは「自分の居場所」についてです。

皆さんは、家族の一員であり、学校・クラスの一員でもあり、ある友達グループの一員でもあります。また、人によっては、運動部や文化部、校外で行われるクラブ活動というグループの一員でもあり、塾や習いごとのグループの一員でもある人もいます。多くの人間が存在する社会で生活をするということは、本人が望む望まないにかかわらず、それぞれのグループの一員として複数の「自分の居場所」をもつこととなります。

皆さんはすべてのグループにおける「自分」が快適と感じていますか。すべて快適と感じている幸せな人も中にはいるかもしれませんが、多くの方は「このグループの自分はちょっと息苦しいな」「このグループは自分と合わないな」と感じることもあるのではないのでしょうか。でもそれはいたって当然のことと思います。それは、それぞれのグループにはグループの常識（価値観）やルールがあり、その従うべきルールやもつことを求められる常識（価値観）が自分と合わないことから息苦しさや不満を感じるのです。

「自分の居場所」は多ければ多いほど安心して豊かに人生を送ることができると思います。ある一つのグループの「自分の居場所」が辛く、息苦しいものであっても、他のグループの「自分の居場所」は楽しくほっとできるものかもしれません。幸いなことに社会には本当に多くのグループがあり、そこで「自分の居場所」をつくることのできる可能性があります。さらに言えば、皆さんはまだ中学生。時間的にも多くの「自分の居場所」をつくることのできる可能性が高いのです。

ここで皆さんに伝えたいのは、たとえ、あるグループでうまく「自分の居場所」を見つけられなくても、それはあなたがダメだということでは決してないということです。たった一つのグループに合わないとしても、他のグループすべても同様に、あなたを受け入れてくれないということではありません。ある一つのグループの価値観やルールが自分に合わないだけなのです。

皆さんには、南高等学校、南高等学校附属中学校で生活する6年間で、まだ出会ってはいないけれど、静かに皆さんと会うのを楽しみにしている、新しい「自分の居場所」を積極的に探しにいてもらいたいと思います。もちろん、学校としてもクラスや部活動等が安心できる皆さんの居場所の一つと思ってもらえるようにしっかりと取り組んでいきます。

### \*本校生徒がご利用いただける「給付制度」および「統合賠償責任保険」のご紹介\*

【日本スポーツ振興センター災害共済給付制度】※掛金年間460円：学校納入金にて徴収済みです。

授業や部活動、登下校中などの学校管理下で起きた傷病が対象となる制度です。保険診療内にかかった医療費と通院に伴う費用（医療費の1割）が給付されます。詳細は保健室にお問い合わせください。

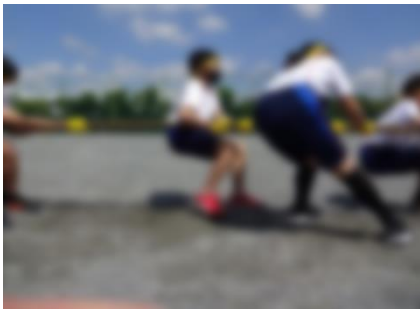
【日新火災海上保険株式会社 統合賠償責任保険】※掛金年間265円：部活動振興費より徴収済みです。

授業や部活動、校外学習などの学校管理下で、他の生徒または第三者に損害をあたえた場合や、生徒が偶発の事故により学校所有物を損壊させた場合などに補償されます。詳細は担任の先生にお問い合わせください。

6月に入り、学校行事が本格的に始まりました。今回は、6月1日（火）に行われた南高祭体育祭の部と、6月11日（金）に合唱コンクールの代替行事として開催された芸術鑑賞会、6月22日（火）の学年集会の様子についてお伝えします。

## 南高祭体育祭の部

6月1日（火）に、晴天の下、南高祭体育祭の部が開催されました。3学年が白組（1組）・青組（2組）・赤組（3組）・黄組（4組）の縦割りで4色に分かれ、赤組（3組）が優勝しました。例年は高校生と合同で行われますが、感染拡大防止の観点から、今年度は中学校のみでの開催となりました。学年種目の大縄や学級対抗リレーなど、事前に昼休みや体育の授業の時間で練習を重ねてきた成果が発揮される場面も多くみられました。



1年生が参加した種目は、大縄・色別対抗綱引き・サバイバル・玉入れさせない・クラス対抗リレー・色別対抗リレーでした。応援席では先輩方に合わせて手拍子で応援をする場面もあり、全校の一体感を感じる行事となりました。

1組

体育祭の長縄のときの円陣では、「1-1、やればできる」と言ったときにみんな1人1人が気合いを込めて言い、回数的には4位だったけれどみんな息を合わせていままで1番多い回数だったので、とてもうれしく印象に残った。

2組

体育祭実行委員の人たちが朝はやくから準備をしてくれたことが印象に残りました。体育祭をあのように入力できたのはすべて体育祭実行委員のおかげだと思います。また、3学年全てが集まって1つのことをやるということも楽しかったです。来年は高校生とも一緒に体育祭をしたいです。

3組

体育祭は皆でやる大会なので、自分だけでなく、周りの人のことも意識しながら競技に取り組んだ。大縄で後ろの人が飛びやすいように少し前にでるなどの、細かい気配りができていたと思う。これからは周りに配慮しつつ、自分も大切にしたい。

4組

自分たちの学年種目のルール決めでは、去年の3グループよりも2グループのほうが良いことや、人と人の間隔はどのようにしたらいいか考えることができたのでよかった。当日は自分が出る種目の順番やアルコール消毒など、みんなで声をかけあってできていたのでよかったと思う。

体育祭実行委員

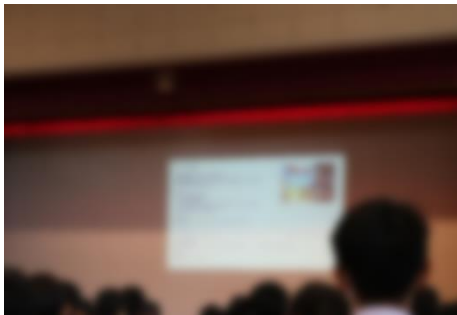
学年種目である、大縄跳びについて、積極的に日々の練習にクラスのみんを誘ったり、みんなが盛り上がるようなことをしたりできました。また、できるだけ本番にクラスのみんがスムーズに動けるように、ルール・流れを確認するなどのことを頑張りました。

体育祭実行委員

みんなで話し合いをすることで、みんなの意見が反映されて、スムーズにルールや役割などが決まった。クラスへの伝達をしっかりと行うことができた。その場に応じて、自分の役割プラスアルファで何かをやることで、みんなで支えあいながらやることができた。

## 芸術鑑賞会

6月11日には、文化委員会の運営のもと、芸術鑑賞会が行われました。本校卒業生の南雲玲生さんをお招きし、スマートフォンで使用できるアプリケーション制作の裏話や、学生時代に取り組んでいたことなどをお話いただきました。



### 姫のひとりごと

この学年だよりも配布される頃、みなさんは初めての期末テストの真っ最中でしょうか。

テスト前はどのような勉強をすればよいのか不安に思っていた人も、実際にテストに取り組んでみれば、これまでの学習が身につけていれば大丈夫だということがわかったと思います。週プランを活用して計画的に復習をし、自分自身の生活を整えていけば、結果はあとからついてきます。

そしてテストが返却されたとき、点数に一喜一憂するのではなく、自分の努力目標を見つけるチャンスにしていきましょう。



# 学年集会



6月22日には、学級委員のみなさんが主体となって、学年集会が開催されました。各クラスの学級目標の発表や委員会の活動についての説明、学年目標の決定と発表などが行われました。

学年目標は…

**「黄色の弾丸～10期生で響き合おう」** に決定しました。

学級目標の発表では各クラスから工夫を凝らした発表も見られ、充実した会となりました。

